

第64回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事要旨

I 日 時 平成30年1月18日(木) 14:00~15:00

II 場 所 天久保キャンパス管理棟大会議室

III 出席者等

- ・出席者 石塚和重、石原保志、大越教夫(議長)、川村恒明、北原保雄、菅野映之、
穴戸和成、須藤正彦、宅清光、竹下義樹、谷川彰英、内藤一郎、廣瀬寛、森
戸久雄、四日市章(五十音順・職名略)
- ・陪席者 大島慎子監事
- ・事務局 山末企画課長、佐藤財務課長、小暮聴覚障害系支援課長、高瀬視覚障害系支
援課長 他3名

IV 議 事

1 前回議事要旨の確認について

議長から資料1により説明があり、下記について修正の上、案のとおり確認された。
IV議事 3報告事項(3)「障害者クラブ」→「障害者プラン」

2 審議事項

(1) 職員給与規程及び役員報酬規程の一部改正について

事務局から資料2により説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 役員退職手当規程及び職員退職手当規程の一部改正について

事務局から資料3により説明があり、審議の結果、了承された。

3 報告事項

(1) 平成30年度筑波技術大学に係る予算(予定)について

事務局から資料4-1~4-3により説明があった。

(主な質疑応答 ○:学外委員、●:本学 以下同じ)

○「社会で活躍する障害学生支援プラットフォーム形成事業」への本学の参入状況は
どうなっているか。

●平成29年度は文部科学省予算の都合により、全国で東京大学・京都大学の2大学
のみが拠点とされた。本学は京大プロジェクトで共同事業を推進しており、東大プ
ロジェクトにも関係機関として加わっている。平成30年度予算は前年度から減額
となっており、新規に拠点認定を受けるには厳しい状況といえる。

○平成29年度との比較で附属病院収入が減っているのはなぜか。

●平成30年度に診療収入薬価が大幅に下がることに加え、鍼灸師の定年退職などの
マイナスリスクを計上しているためである。近年は毎年数百万円程度の収入増を実
現しており、また、手技料の上がる見込みもあるため、実際には平成30年度も増
とできることを想定している。

(2) 平成30年度産業技術学部・保健科学部の推薦入試及び社会人入試の実施状況について

事務局から資料5-1及び5-2により説明があった。

(3) 平成30年度保健科学部のAO入試及び編入学試験の実施状況について

事務局から資料6により説明があった。

○鍼灸学専攻と理学療法学専攻における定員未充足について、どのような対策を行うのか。

●学生募集WGによるアンケート調査や電話連絡のほか、高等学校に直接出向き、3年生以外にも積極的に相談業務を行っていく。学部長も実際に足を運ぶことで本学の存在を広報し、公聴会で連携について発言するなど、高等学校からの関心を高めるよう図っていく。

(4) 平成29年度経営協議会学外委員からいただいた意見の反映状況について

事務局から資料7により説明があった。

4 その他

(1) 組織改組について

(2) ボルダリングウォールの設置について

(3) 手話フォンの設置について

(4) 研究シーズ集

(1)～(4)について、事務局から当日配付資料に基づき説明があった。

以上